

## 東京学芸大学探究プロジェクトとの連携における

### 授業研究会(地歴)を開催しました！！

令和5年1月27日(金)に、長崎県文理探究科連絡協議会と東京学芸大学との連携事業として、東京学芸大学の先生や県教育委員会、県内の高校の先生方とチームをつくり、1年間かけて準備を進めてきた授業研究会を開催しました。大村高校では、地歴の世界史を連携授業の教科として、2年6・7組を対象に実施しました。

#### <事業の概要>

**目的** 各教科がチームを結成し、高校探究プロジェクトと連携して、協働的に、授業研究に取り組むことで、各教科における探究的な学びの実現に向けた授業改善を図る。また、この取組を県内に発信し、県全体の授業改善の推進に資する。

**授業者** 大村高等学校 教諭 小林 詳梧

**教科・科目** 地歴公民 世界史 A

**単元** 「経済危機から第二次世界大戦へ」

「被害者の拡大と戦争の終わり」

当日は、東京学芸大学の藤村祐子先生を始め、県内の高校から11名の先生方に参加をしていただき、午後の研究協議も活発な意見交換が行われました。



写真 左上：研究授業の様子その1  
左下：藤村祐子先生の講義の様子

写真 右上：研究授業の様子その2  
右下：先生方の授業研究の様子